

令和7年度 福岡県社会教育委員連絡協議会

第1回 評議員会

日 時 令和7年7月9日（水）15:00～

場 所 吉塚合同庁舎 5階503会議室

次 第

1 挨拶

2 役員・事務局紹介

3 議事

(1) 令和6年度事業報告（案）及び収支決算報告（案）

(2) 令和6年度会計監査報告

(3) 役員改選について

※理事の紹介

(4) 令和7年度事業計画（案）及び予算（案）

(5) その他

① 第55回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会について

② 令和7年度市町村社会教育委員ブロック研修会（案）について

③ 福岡県社会教育委員連絡協議会表彰について

4 その他

(1) 第67回全国社会教育研究大会岩手大会について

(2) 令和7年度分担金について

(3) 全国社会教育委員連合の表彰推薦者について

(4) 「社教情報」の購読について

(5) 福岡県社会教育委員連絡協議会細則等

(6) 社会教育課から

(様式2-2)

令和6年度市町村社会教育委員ブロック研修会事業報告書

福岡ブロック実行委員会

実施期日・時間	令和6年10月18日(金) 13時15分～16時20分
会場	古賀市生涯学習センター(リーバスパラザこが) 大ホール
研修テーマ等	「社会教育は地域社会に何ができるか」 ～地域コミュニティへの多様なかかわり方について～
参加者数	110人
実施内容等	1 開会式 (13:15～13:30) 2 講話 (13:30～14:30) テーマ:「地域は持続できるのかー社会教育への期待ー」 講師: 前 九州女子大学・九州女子短期大学地域教育実践研究センター 所長・教授 大島 まな 氏 3 パネルディスカッション (14:50～16:10) テーマ:「社会教育は地域社会に何ができるか」 ～地域コミュニティへの多様なかかわり方について～ 登壇者 ①糸島地区代表 糸島市社会教育委員の会 久我 智美 氏 糸島市地域振興部生涯学習課 千代反田 崇 氏 事例発表テーマ 「地域に支えられる社会教育活動」 ～だれかのために、みんなのために、地域社会のために～ ②糟屋地区代表 新宮町社会教育委員の会 後藤 道子 氏 新宮町教育委員会社会教育課 船越 憲幸 氏 事例発表テーマ 「“こども”から“大人”まで一緒に育つ場所づくり」 コーディネーター 前 九州女子大学・九州女子短期大学地域教育実践研究センター 所長・教授 大島 まな 氏 4 閉会式 (16:10～16:20)

運営の状況 (留意点等)	福岡ブロックでは、4地区（宗像地区、糟屋地区、糸島地区、筑紫地区）による実行委員会事務局の輪番制をとっている。各地区からの代表として市町社会教育委員の会長等と市町担当職員によって実行委員会を組織しており、今年度の事務局は糟屋地区の古賀市が担当した。 今年度の研修会では、講話とパネルディスカッションを実施した。講話では大島まな氏から、人生100年時代を迎え持続可能な地域での暮らしと人生を豊かにするために、社会教育の強みを生かし、共通の目的に向かって共に活動することが人や地域のつながりを育むことになるとお話いただいた。 また、パネルディスカッションでは、糸島市及び新宮町の社会教育委員から各市町で活動されている内容を写真や動画を効果的に使って発表いただいた。会場の参加者を小グループに分けグループ内での意見交換も行ったため参加者同士での交流があった。参加者からは糸島市及び新宮町の活動の自主性や実行力を称賛する声が聞かれた。	
今後の課題等	参加者アンケートでは、「各地区の実践発表や取組がとても参考になった。」や「他地区との意見交換や交流が深められる機会がほしい。」等の意見があった。また、希望する研修内容はパネルディスカッションや講演の割合が高く、今後は、参加者同士が十分に意見交換できるよう時間配分や会場などを検討したほうが良い。 各自治体の情報共有の場としてパンフレット等を置く場所を受付近くに設置したが、当該市町の資料等を持参された市町は少なかった。しかしながら、参加者等がパンフレットを手取る姿はあった。	
次年度開催地	筑紫地区 大野城市	(福岡教育事務所管内)
備 考		

(様式2-2)

令和6年度市町村社会教育委員ブロック研修会事業報告書

北九州ブロック実行委員会

実施期日・時間	令和7年2月7日(金) 13時30分 ～ 16時30分	
会 場	なかまハーモニーホール 小ホール(福岡県中間市蓮花寺三丁目7-1)	
研修テーマ等	『学校支援から地域の活性化へ』～好循環への道～	
参加者数	55人	
実施内容等	【実践発表】 演題:「ほくほく夢ネット事業～小学校で朝ごはんを～」 発表者: 中間市地域学校協働活動推進員 谷口知子さん 【基調講演】 演題:「すべては子どもたちのために～学校支援と地域づくり～」 講師: 川崎町社会教育委員会副委員長 中村千恵さん	
運営の状況 (留意点等)	研修会当日は、大寒波のため降雪があったことから、近隣の自治体で通行止め等が発生した。そのため、100名以上の参加が予定されていたが、当日欠席の連絡が相次いだため、参加者が例年に比べて少なくなった。	
今後の課題等	開催時期は、寒さが緩む3月にすべきだった。	
次年度開催地	福岡県鞍手郡鞍手町	(北九州市教育事務所管内)
備 考		

実施期日・時間	令和 6 年 1 2 月 5 日 (木) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分	
会 場	サザンクス筑後 (小ホール)	
研修テーマ等	テーマ 『支え合おう！ひとと地域社会がつながるまちづくり』	
参加者数	1 1 9 人	
実施内容等	1 開会行事 実行委員長あいさつ 福岡県教育委員会あいさつ 開催地あいさつ 2 実践発表 演題：「学びの成果を活かした地域づくり」 発表：筑後市社会教育委員 西坂ヨシエ氏、徳永拓氏、師富静恵氏、上野京子氏 3 講演 演題：「“ひとづくり” から始める地域づくり」 講師：大畑 伸幸 氏 4 閉会行事 次期開催地あいさつ (久留米市)	
運営の状況 (留意点等)	地域課題や社会変化に対応した持続可能な地域づくり、地域コミュニティの基盤形成に向けて、「つながる」をキーワードとして、ひととひと、ひとと社会がつながり支え合うまちづくりについて理解を深め、共有することで、各地域の社会教育・生涯学習の充実と振興を図ることを目的に開催した。 今回は、まちづくりをテーマにしており、社会教育委員のみならず、地域づくりのために様々な活動に取り組まれている社会教育関係者にも参加を呼び掛けた。	
今後の課題等	ホールの規模に対して参加者が少ないため、開催日時、対面と Web 参加の併用など、参加が増える研修会のあり方を検討する必要がある。	
次年度開催地	久留米市	(北筑後教育事務所管内)
備 考		

(様式 2-2)

令和 6 年度市町村社会教育委員ブロック研修会事業報告書

筑豊ブロック実行委員会

実施期日・時間	令和 7 年 1 月 30 日 (木) 14 時 00 分～17 時 10 分	
会 場	桂川町住民センター	
研修テーマ等	筑豊地区の子ども達の現状と地域に求められる役割	
参加者数	55 人	
実施内容等	○開会行事 ○講演 (60 分) 演題:「地域で考えるこどものトータルヘルスケア ～小児科医からみた筑豊地区の子どもの現状～」 講師:飯塚病院 小児科診療部長 田中 祥一郎氏 ○グループワーク (80 分) テーマ:「地域の子どもを守るために私たちができること」 進 行:筑豊教育事務所 社会教育室 主任社会教育主事 増山 雄一氏 ○閉会行事	
運営の状況 (留意点等)	3 市 (飯塚市、嘉麻市、田川市) 2 郡 (田川郡赤村、嘉穂郡桂川町) の社会教育委員の代表者によって実行委員会を組織し、11 月、2 月に実行委員会を開催した。	
今後の課題等	今回は講演及びグループワークの 2 部構成で実施した。講演、グループワークとともに内容や各市町村との意見交換が活発に行われるなど、参加者の反応は概ね良好であった。アンケート結果では、2 部構成でそれぞれの時間が短く、内容が深まらない等との研修会への前向きな意見も多かった。 今後も各地区の実態を踏まえ、社会教育委員の役割を掘り下げるテーマの選定や講演時間の調整等を検討していく必要があると思われる。	
次年度開催地	飯塚市	(筑豊教育事務所管内)
備 考		

(様式 2 - 2)

令和 6 年度市町村社会教育委員ブロック研修会事業報告書

京築ブロック実行委員会

実施期日・時間	令和 6 年 11 月 26 日 (火) 13 時 00 分 ~ 15 時 30 分	
会 場	げんきの杜 (多目的ホール) 築上郡上毛町大字八ツ並 143 番地 1	
研修テーマ等	これからのひとづくり・地域づくり	
参加者数	57 人	
実施内容等	○演題 これからのひとづくり・地域づくり ～社会教育委員、そして行政の役割～ ○講師 NPO 法人おむすび理事長 大畑 伸幸 氏 ○内容 大畑先生は、小・中学校の教員を 18 年間、社会教育士として社会教育行政に 20 年間携わるなど、様々な現場の経験をお持ちで、社会教育行政では、「持続可能な地域づくり」を推進するため、社会教育を自治体の政策の中核に置くことで行政の部署間の横串を刺し、各種政策を展開されてきた。このような経験に基づき、ひとづくり・地域づくりを実行するために、社会教育委員及び行政がどういった役割を担うことが必要か実践を踏まえて講義いただいた。	
運営の状況 (留意点等)	上毛町社会教育委員 7 名の方により実行委員会を組織し、当日の役割を分担して、円滑に研修会を実施することができた。	
今後の課題等	特になし	
次年度開催地	みやこ町	(京築教育事務所管内)
備 考	京築管内はもとより、隣接する大分県北 3 市 (中津市、宇佐市、豊後高田市) からも多く参加いただいた。	

令和7年度福岡県社会教育委員連絡協議会事業計画（案）

1 基本方針

社会教育の充実・振興に寄与する社会教育委員及び同委員の会議の活動の活性化を図るとともに、県並びに市町村の連携を深める。

2 重点目標

- (1) 社会教育委員の資質向上を図るための研修の充実
- (2) 社会教育及び社会教育委員の活動に関する情報の収集・提供

3 事業計画

(1) 諸会議

①評議員会・理事会・監事会

- 評議員会：年1回（6月末～7月頃）
- 理事会：年2回（6月末～7月頃・3月頃）
- 監事会：年1回（6月頃）
- 福岡大会実行委員会：年3回程度

②九州ブロック社会教育委員連絡協議会関係会議

- 運営委員会・理事会：年1回（九州ブロック研究大会時）

③全国社会教育委員連合関係会議

- 総会：年3回程度（5月頃・全国大会時・3月頃）
- 事務局担当者会議：年1回（全国大会時）

(2) 研究・研修事業

①市町村社会教育委員新任者等研修会

趣 旨：新任の市町村社会教育委員等を対象に、社会教育委員の役割や当面する社会教育の課題等についての研修を行い、社会教育の充実・振興を図る。

期 日：令和7年7月3日（木）

会 場：福岡県立社会教育総合センター

②福岡県社会教育研究大会 ※第55回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会と兼ねる。

【 令和7年11月13日（木）～14日（金）：アクロス福岡 】

③市町村社会教育委員ブロック研修会

趣 旨：市町村における社会教育推進上の諸問題を明らかにし、それらの課題に対する具体的な解決方策をさぐるとともに、社会教育委員の資質の向上と相互の連携強化を図り、地域における今後の社会教育の充実・振興に役立てる。

実施方法：県内各ブロック（福岡・北九州・筑後・筑豊・京築）において、担当市・郡社会教育委員連絡協議会及び関係各教育事務所等で実行委員会を組織して実施する。

④令和7年度第67回全国社会教育研究大会岩手大会

期 日：令和7年10月30日（木）～31日（金）

会 場：盛岡市民文化ホール 他

⑤令和7年度第55回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会

期 日：令和7年11月13日（木）～14日（金）

会 場：アクロス福岡

（3）情報・資料等の提供事業

①「社教情報」（年2回 2月と9月 全国社会教育委員連合発行）定価：360円

②「社教連会報」（年2回 2月と9月 全国社会教育委員連合発行）

③「社会教育委員の手引」（年1回 1月頃 福岡県社会教育委員連絡協議会発行）

（4）表彰

①福岡県社会教育委員連絡協議会表彰

※福岡県社会教育委員連絡協議会表彰規程運用要綱2 当協議会が「九州ブロック社会教育研究大会」を開催する年度の表彰は、次年度に行うものとする。

②全国社会教育委員連合表彰（全国社会教育研究大会で表彰）